

蒲都市の公園や緑に関するアンケート調査 集計結果

1. 調査概要

(1) 調査の目的

蒲郡市緑の基本計画の改定にあたり、市民の緑や公園に関する意見を把握し、改定内容に反映することを目的とする。

(2) 調査方法

郵送（アンケート調査票の配布・回収）および web（QR コード・URL をアンケート調査票に記載）にて実施。

(3) 実施期間

令和 5 年 10 月 30 日(月)（発送） ～ 11 月 17 日(金)（必着） 19 日間

(4) 調査対象

蒲郡市在住の 18 歳以上の方の中から 1,700 名を無作為に抽出

(5) 配布票数と回収票数

配布票数	回収票数	回収率
1,700	707 〔内 Web による回答数：250〕	41.6%

(6) 本アンケートの信頼性について

本アンケートは無作為抽出で行っており、全数調査を行った場合に対して誤差を生じる可能性がある。この誤差は「標本誤差」と呼ばれているが、一般的に世論調査などは信頼度 95%（同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを用い、これに基づく標本誤差は次の公式で求められる。また、標本誤差の許容範囲は 5%未満が望ましいとされている。

$$E = 1.96 \sqrt{\frac{P(100 - P)}{n}}$$

E : 標本誤差 (%) n : 有効回答数 P : 回答比率 (%)

標本誤差はある設問に対する回答比率(P)が 0%または 100%に近づくほど小さく、50%のときにもっとも大きくなるが、本アンケートの回答数(n=707)と回答比率 50%を上記の公式に当てはめて標本誤差を算定すると約 3.7%（ $= 1.96 \times \sqrt{[(50 \times 50)/707]}$ ）となる。この値は許容範囲の 5%未満に収まっていることから、妥当な標本データであると言える。

<調査結果の見方>

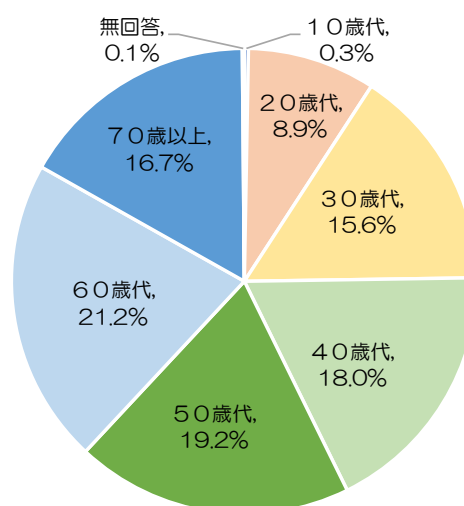
- ※回答の比率は、少数点第 2 位を四捨五入しており、合計が 100%にならない場合がある。
- ※複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超える。

2. アンケート結果

回答者の属性

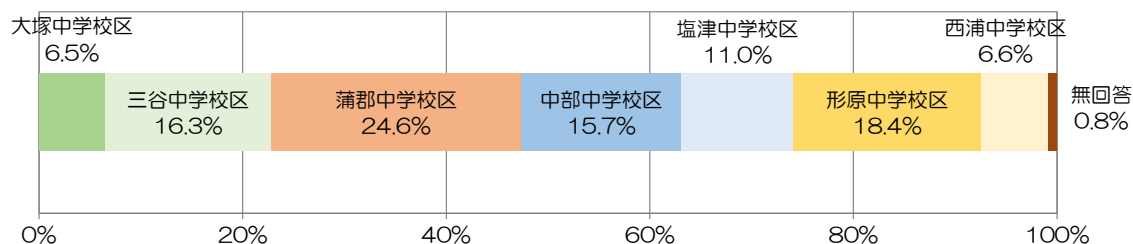
問1 年齢

項 目	回答数	比率
10歳代	2	0.3%
20歳代	63	8.9%
30歳代	110	15.6%
40歳代	127	18.0%
50歳代	136	19.2%
60歳代	150	21.2%
70歳以上	118	16.7%
無回答	1	0.1%
回答者数	707	100.0%



問2 居住地（中学校区）

項 目	回答数	比率	配布数
大塚中学校区	46	6.5%	116
三谷中学校区	115	16.3%	244
蒲郡中学校区	174	24.7%	398
中部中学校区	111	15.7%	274
塩津中学校区	78	11.0%	215
形原中学校区	130	18.4%	340
西浦中学校区	47	6.6%	113
無回答	6	0.8%	—
回答者数	707	100.0%	—



蒲郡市の公園・緑地の現状、そのあり方について

問3 公園・緑地等の利用頻度

<市全体>

- ・「ほとんど利用しない」（54.3%）が最も多く、半数を超えているのに対し、週1日以上の利用者（「週に3日以上利用する」（7.2%）と「週に1, 2日利用する」（11.7%）の合計）は20%に満たない。

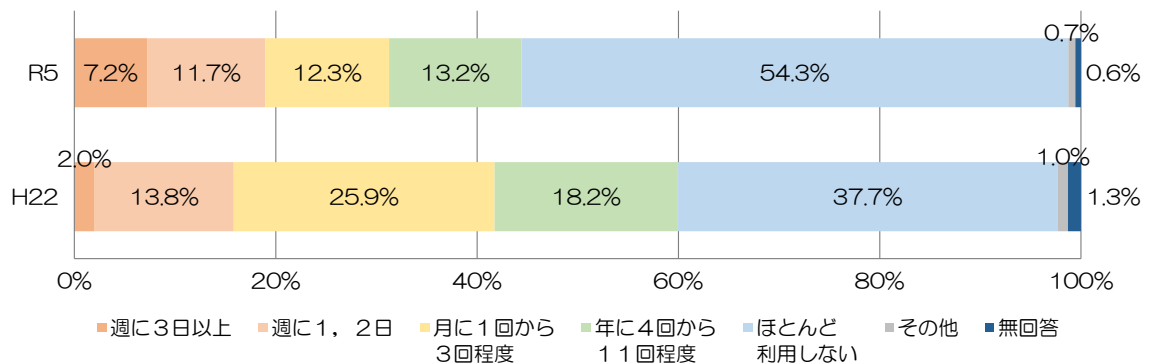
<前回調査※との比較>

- ・前回調査と比較では、月に1回程度以上の利用者が、前回調査の41.7%に対し今回調査では31.2%と10ポイントほど減少している。「ほとんど利用しない」の回答が37.7%から54.3%と大幅に増加している。

項 目	回答数	比率
週に3日以上利用する	51	7.2%
週に1, 2日利用する	83	11.7%
月に1回から3回程度利用する	87	12.3%
年に4回から11回程度利用する	93	13.2%
ほとんど利用しない	384	54.3%
その他	5	0.7%
無回答	4	0.6%
回答者数	707	100.0%

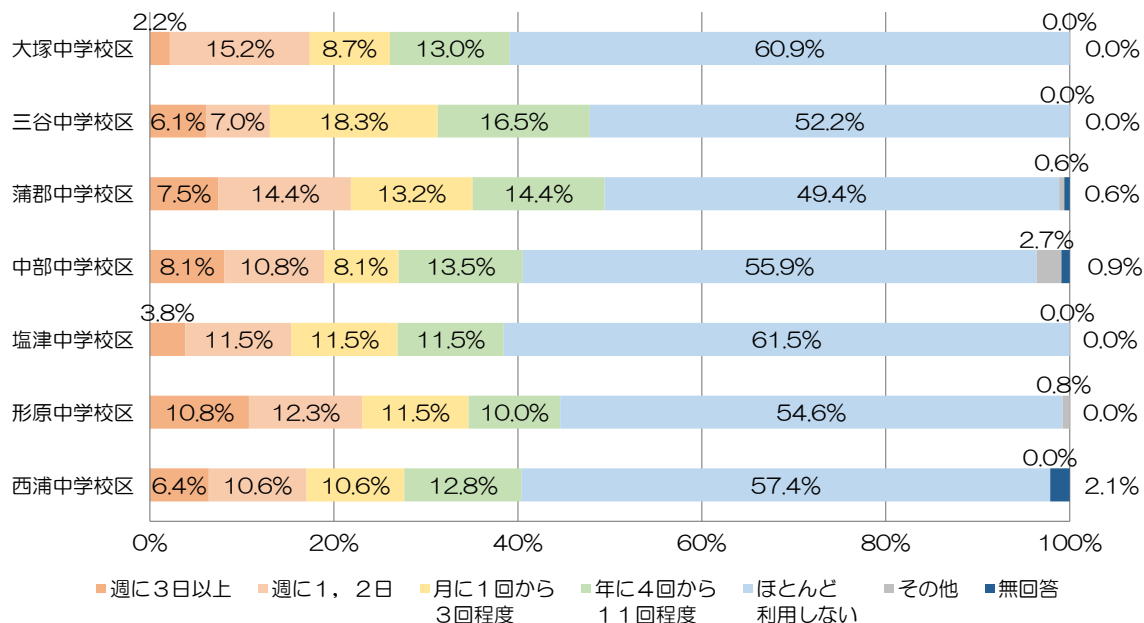
※前回調査

現行の緑の基本計画の策定に合わせて、平成22年度に行った「公園やみどりの将来についてのアンケート調査」。一般の回答数297票。



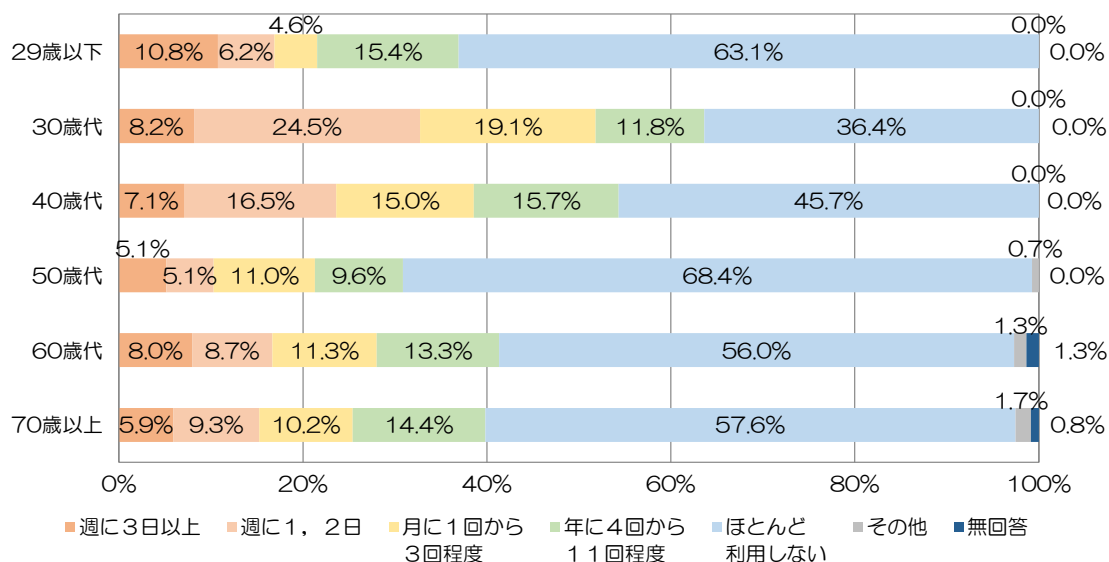
<中学校区別>

- ・中学校区毎でも全体と似た傾向にあるが、月に1回程度以上の利用者は大塚中学校区では26.1%、西浦中学校区では27.6%と、この2つの地区に都市公園はないものの3割近い数値となっているため、児童遊園地等の利用が予想される。



<年代別>

- ・年代別でみると、月に1回程度以上の利用者は30歳代では51.8%、40歳代では38.6%と高い割合となっており、子育てによる利用が多いと考えられる。

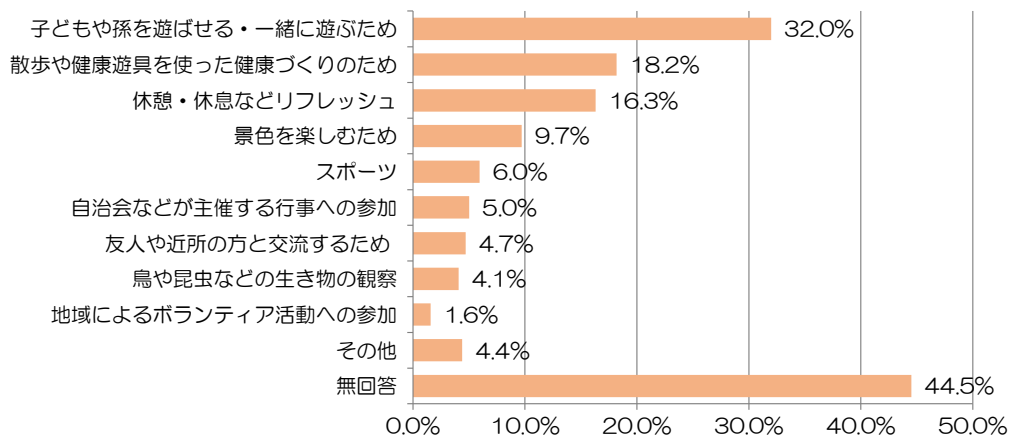


問4 公園・緑地等を利用するときの主な目的（※3つまでの複数回答）

【問3で「ほとんど利用しない」以外を回答】

<市全体>

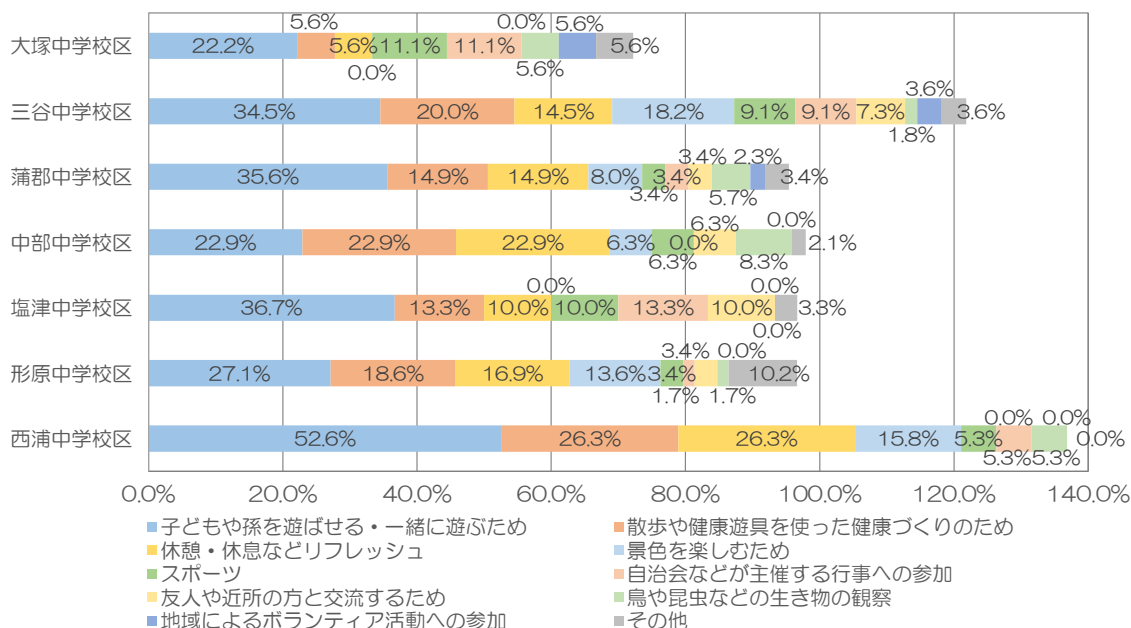
- ・「子どもや孫を遊ばせる・一緒に遊ぶため」（32.0%）が最も多く、次いで「散歩や健康遊具を使った健康づくりのため」（18.2%）、「休憩・休息などリフレッシュ」（16.3%）の順に多い。



※比率：回答者数に対する割合

<中学校区別>

- ・どの中学校区も「子どもや孫を遊ばせる・一緒に遊ぶため」が最も多いが、大塚中学校区や塩津中学校区では、次いで「自治会などが主催する行事への参加」が11.1%（大塚）、13.3%（塩津）となっており、中学校区毎に公園や緑地の利用目的に地域や特色がみられる。
- ・三谷中学校区、西浦中学校区では「景色を楽しむため」の回答も多く、山や海辺の風景を楽しむため、都市公園や緑地等の利用が予想される。



問5 市内の公園の満足度

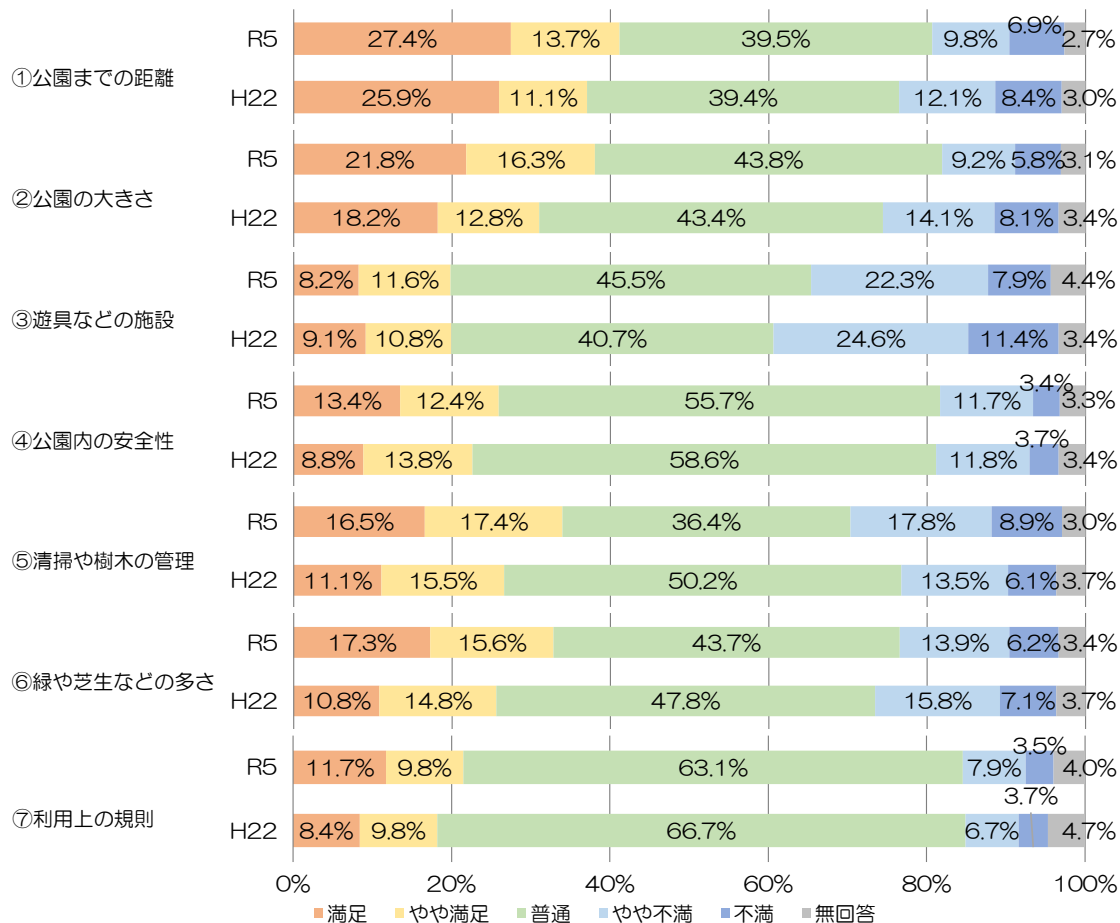
<市全体>

- ・どの項目も満足度「普通」が一番多い中で、「公園までの距離」、「公園の大きさ」に関しては、満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が約 40%と比較的高いのに対し、「遊具などの施設」、「清掃や樹木の管理」に関して、約 30%の方が「不満」、「やや不満」となっている。

<前回調査との比較>

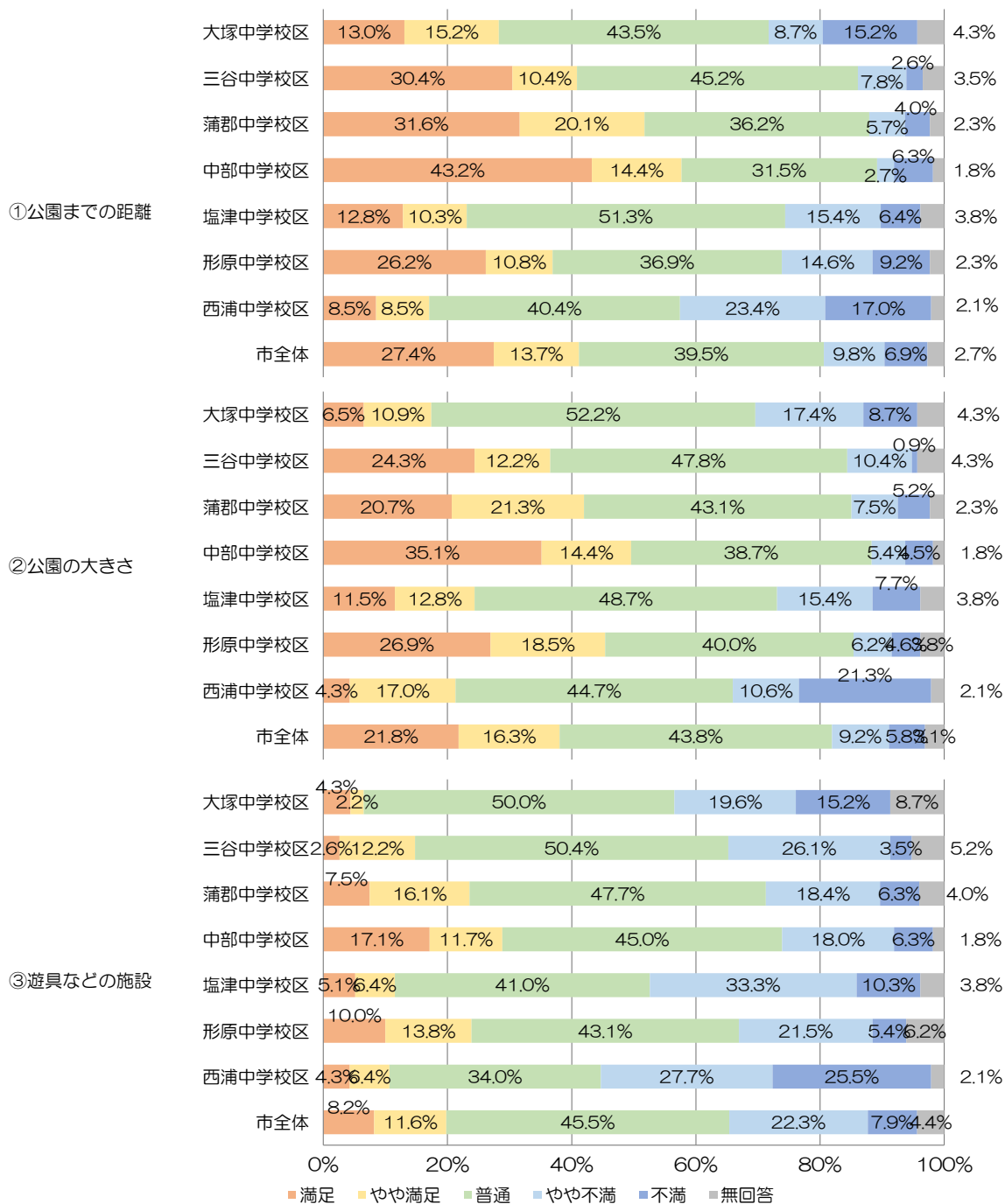
- ・前回調査と比較すると、概ね今回調査と同様の傾向になっているが、「公園の大きさ」について、満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が前回の 31.0%から今回は 38.1%と上昇している。

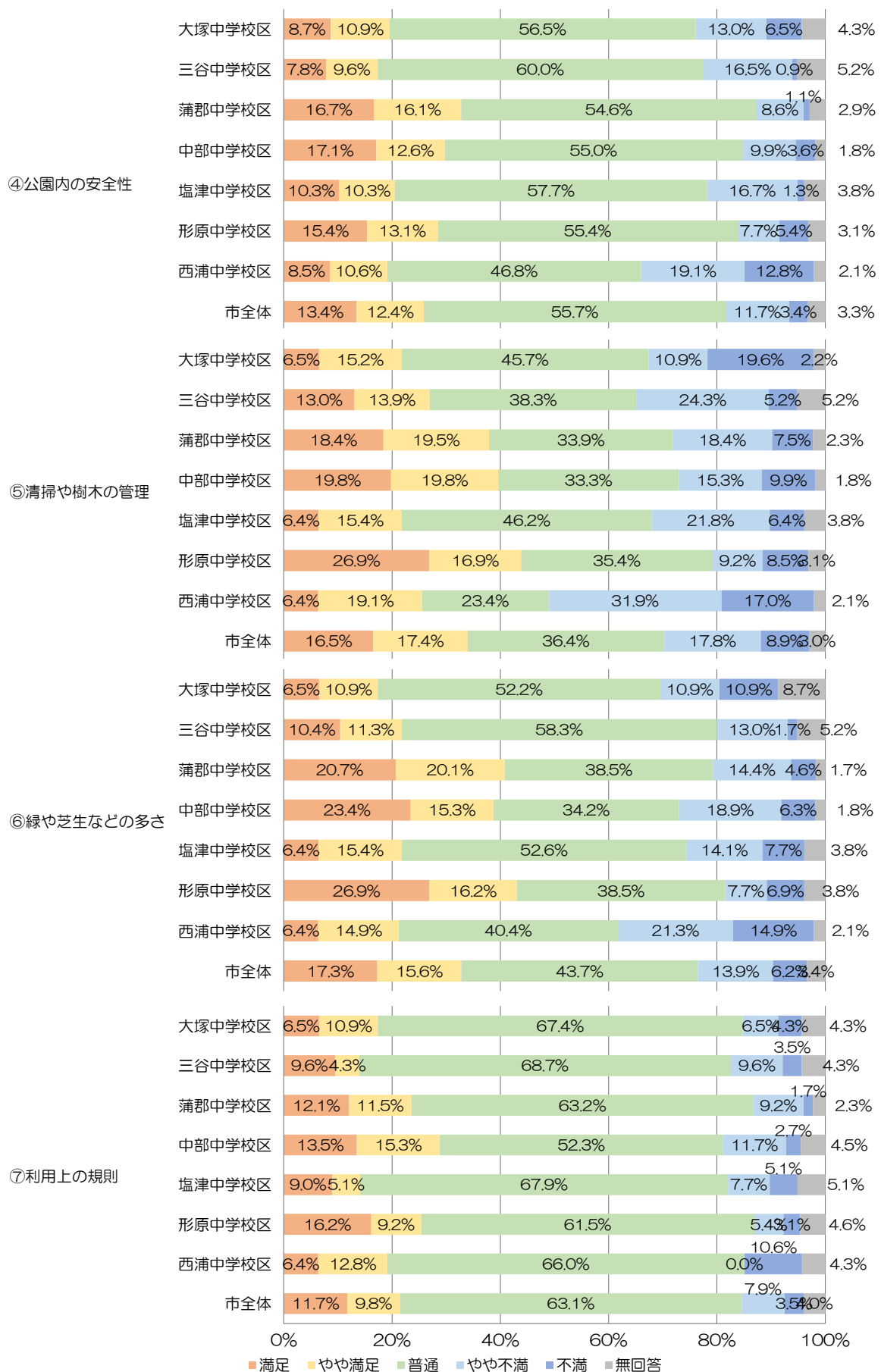
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	回答者数
①公園までの距離	194(27.4%)	97(13.7%)	279(39.5%)	69(9.8%)	49(6.9%)	19(2.7%)	707(100.0%)
②公園の大きさ	154(21.8%)	115(16.3%)	310(43.8%)	65(9.2%)	41(5.8%)	22(3.1%)	707(100.0%)
③遊具などの施設	58(8.2%)	82(11.6%)	322(45.5%)	158(22.3%)	56(7.9%)	31(4.4%)	707(100.0%)
④公園内の安全性	95(13.4%)	88(12.4%)	394(55.7%)	83(11.7%)	24(3.4%)	23(3.3%)	707(100.0%)
⑤清掃や樹木の管理	117(16.5%)	123(17.4%)	257(36.4%)	126(17.8%)	63(8.9%)	21(3.0%)	707(100.0%)
⑥緑や芝生などの多さ	122(17.3%)	110(15.6%)	309(43.7%)	98(13.9%)	44(6.2%)	24(3.4%)	707(100.0%)
⑦利用上の規則	83(11.7%)	69(9.8%)	446(63.1%)	56(7.9%)	25(3.5%)	28(4.0%)	707(100.0%)



＜中学校区別＞

- ・市の中心部に近い蒲郡中学校区と中部中学校区では、満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が全項目とも市全体を上回っており、双太山公園等のある形原中学校区においても、「公園までの距離」以外の全項目で市全体を上回っている。
- ・一方、大塚中学校区、塩津中学校区、西浦中学校区では全項目とも市全体を下回り、特に西浦中学校区では「利用上の規則」を除くほとんどの項目で、市全体を大幅に下回っている。





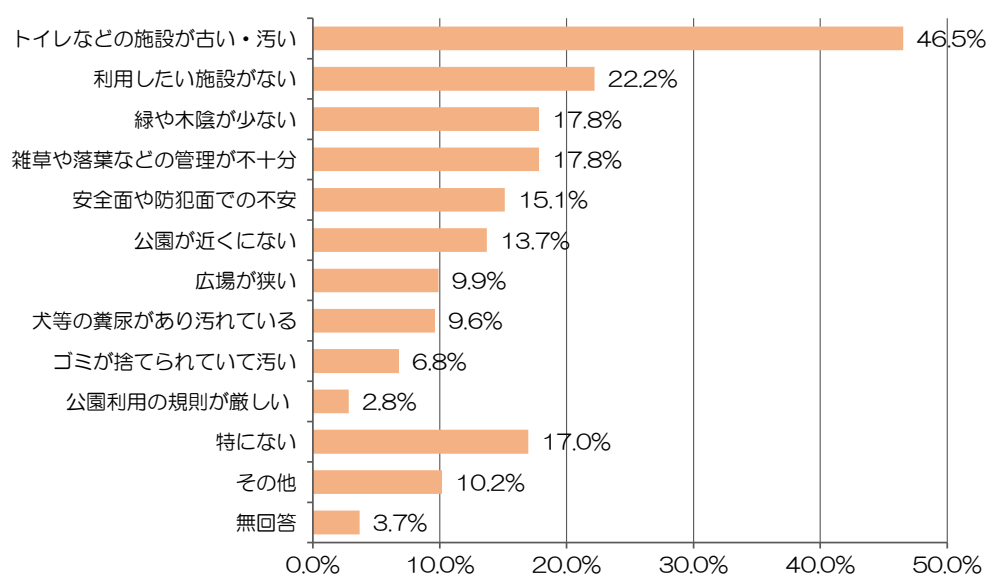
問6 公園に関する問題点・不満（※3つまでの複数回答）

<市全体>

- ・「トイレなどの施設が古い・汚い」（46.5%）や、「利用したい施設がない」（22.2%）といった公園施設に関する回答が多い。
- ・「その他」の主だったものとしては、駐車場の不足（意見数 13）、ペットの散歩（意見数 3）やボール遊び（意見数 4）といった公園利用に関する意見が挙げられた。

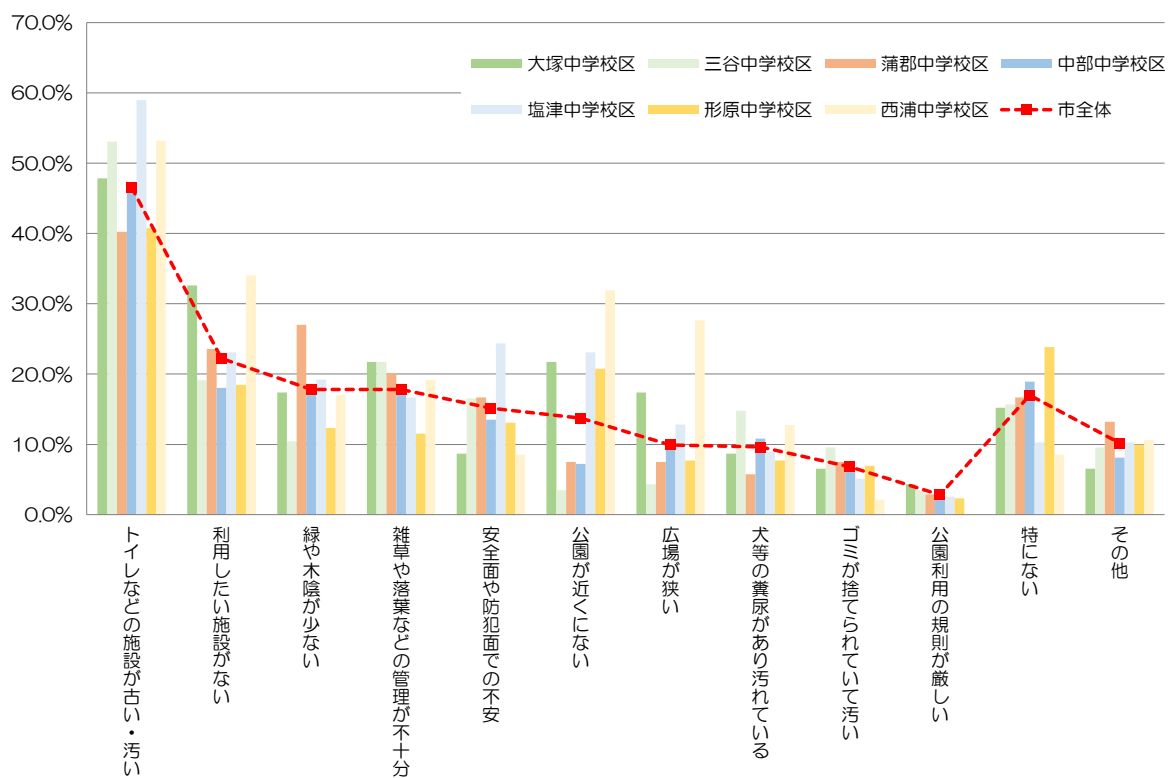
項 目	回答数	比率※
トイレなどの施設が古い・汚い	329	46.5%
利用したい施設がない	157	22.2%
緑や木陰が少ない	126	17.8%
雑草や落葉などの管理が不十分	126	17.8%
安全面や防犯面での不安	107	15.1%
公園が近くにない	97	13.7%
広場が狭い	70	9.9%
犬等の糞尿があり汚れている	68	9.6%
ゴミが捨てられていて汚い	48	6.8%
公園利用の規則が厳しい	20	2.8%
特にない	120	17.0%
その他	72	10.2%
無回答	26	3.7%
回答総数（無回答は除く）	1,340	—
回答者数	707	—

※比率：回答者数に対する割合



＜中学校区別＞

- ・「トイレなどの施設が古い・汚い」がいずれの中中学校区でも突出して多くなっているが、これ以外では、大塚中学校区、西浦中学校区等において「利用したい施設がない」「公園が近くにない」「広場が狭い」といった項目が多く挙げられている。塩津中学校区では、「安全面や防犯面での不安」が 24.4%と他の中学校区に比べて高く、蒲郡中学校区では「緑や木陰が少ない」が 27.0%と、他の中学校区と比べ高い比率となっている。



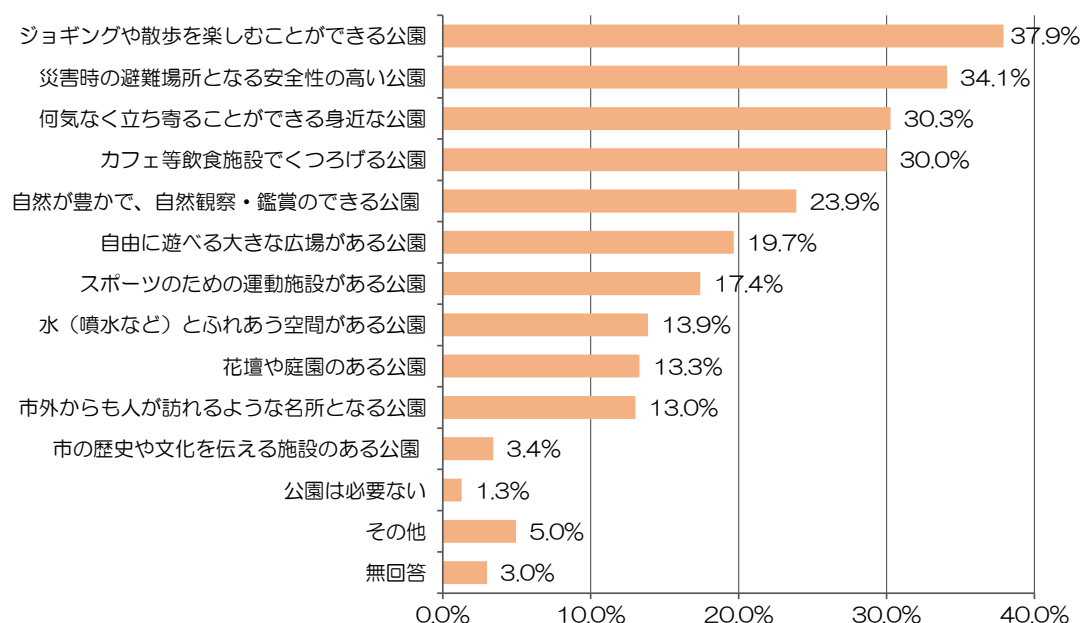
問7 今後、蒲郡市に必要と思う公園（※3つまでの複数回答）

<市全体>

- ・多様なニーズが見られる中で、「ジョギングや散歩を楽しむことができる公園」（37.9%）や「何気なく立ち寄ることができる身近な公園」（30.3%）といった日常的に利用できる公園や、「災害時の避難場所となる安全性の高い公園」（34.1%）といった防災機能のある公園との回答が多い。
- ・「その他」には、駐車場（意見数 4）やベンチ（意見数 3）、遊具（意見数 5）等を増やしてほしいという回答がみられ、イベントの開催やテーマ性のある公園を求める意見もあった。

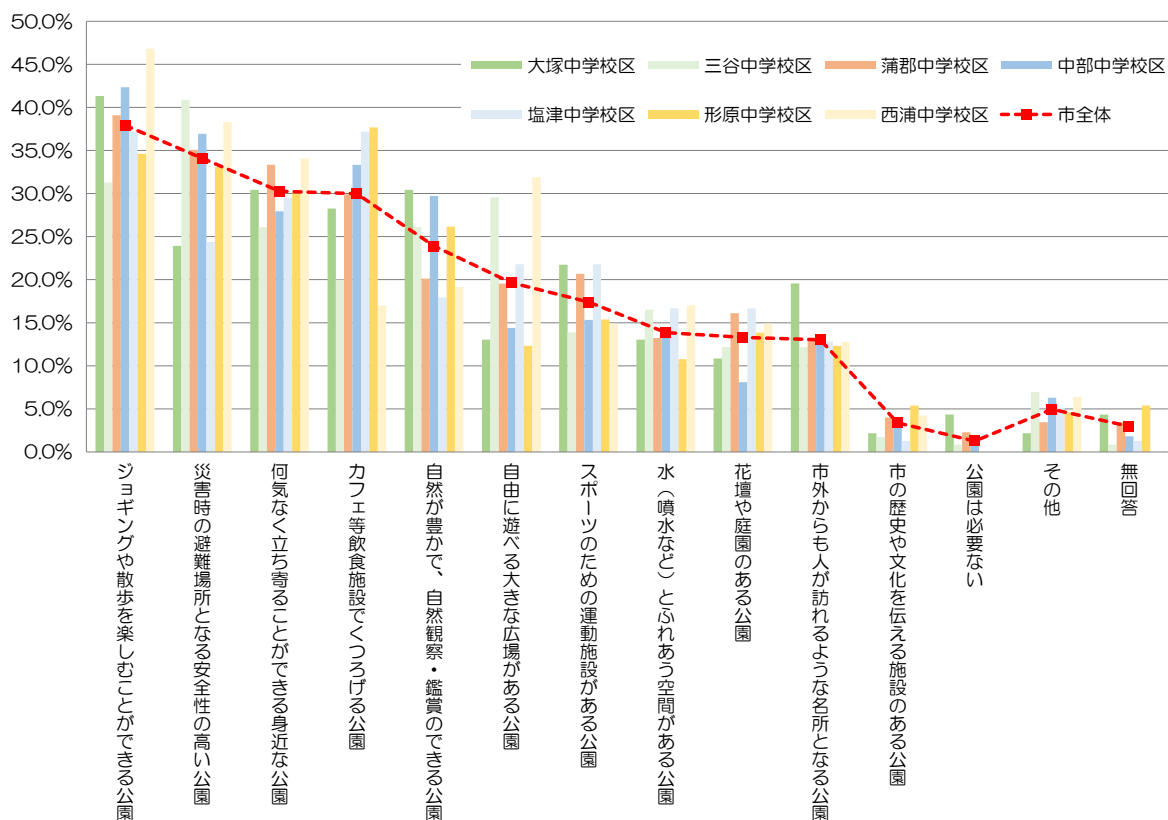
項 目	回答数	比率※
ジョギングや散歩を楽しむことができる公園	268	37.9%
災害時の避難場所となる安全性の高い公園	241	34.1%
何気なく立ち寄ることができる身近な公園	214	30.3%
カフェ等飲食施設でくつろげる公園	212	30.0%
自然が豊かで、自然観察・鑑賞のできる公園	169	23.9%
自由に遊べる大きな広場がある公園	139	19.7%
スポーツのための運動施設がある公園	123	17.4%
水（噴水など）とふれあう空間がある公園	98	13.9%
花壇や庭園のある公園	94	13.3%
市外からも人が訪れるような名所となる公園	92	13.0%
市の歴史や文化を伝える施設のある公園	24	3.4%
公園は必要ない	9	1.3%
その他	35	5.0%
無回答	21	3.0%
回答総数（無回答は除く）	1,739	—
回答者数	707	—

※比率：回答者数に対する割合



＜中学校区別＞

- ・ いずれの中中学校区も概ね市全体と同様の傾向にあるが、三谷中中学校区、西浦中中学校区では「自由に遊べる大きな広場がある公園」が市全体より 10 ポイント程度多く、西浦中中学校区では「ジョギングや散歩を楽しむことができる公園」も市全体より 10 ポイント近く多くなっている。



蒲郡市の緑の現状、そのあり方について

問8 蒲郡市は緑が豊かなまちと思うか

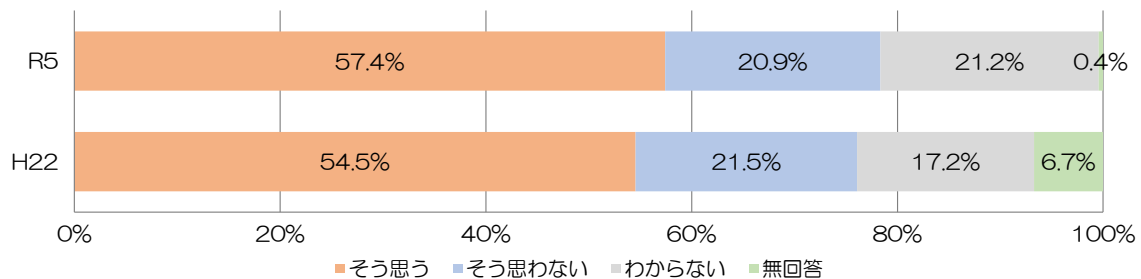
<市全体>

- ・「そう思う」（57.4%）が半数以上で、「そう思わない」（20.9%）の倍以上となっている。

<前回調査との比較>

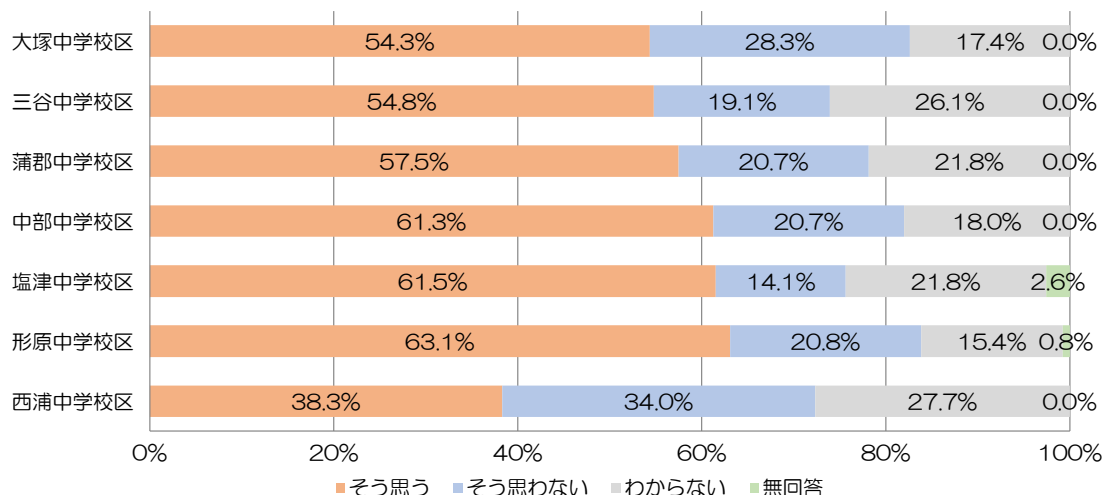
- ・前回調査と比較しても、傾向の差は特にみられない。

項 目	回答数	比率
そう思う	406	57.4%
そう思わない	148	20.9%
わからない	150	21.2%
無回答	3	0.4%
回答者数	707	100.0%



<中学校区別>

- ・いずれの中学校区でも「そう思う」が「そう思わない」を上回っているが、大塚中学校区、西浦中学校区では「そう思わない」の割合が他の中学校区に比べ高く、特に西浦中学校区では「そう思う」と「そう思わない」の回答が拮抗している。自然的な“緑”は多いが、公園など利用できる“緑”が見られないことから、こうした回答結果となったのではないかと予想される。



問9 「緑が豊かなまちと思う」主な理由（※2つまでの複数回答）

【問8で「そう思う」と回答】

<市全体>

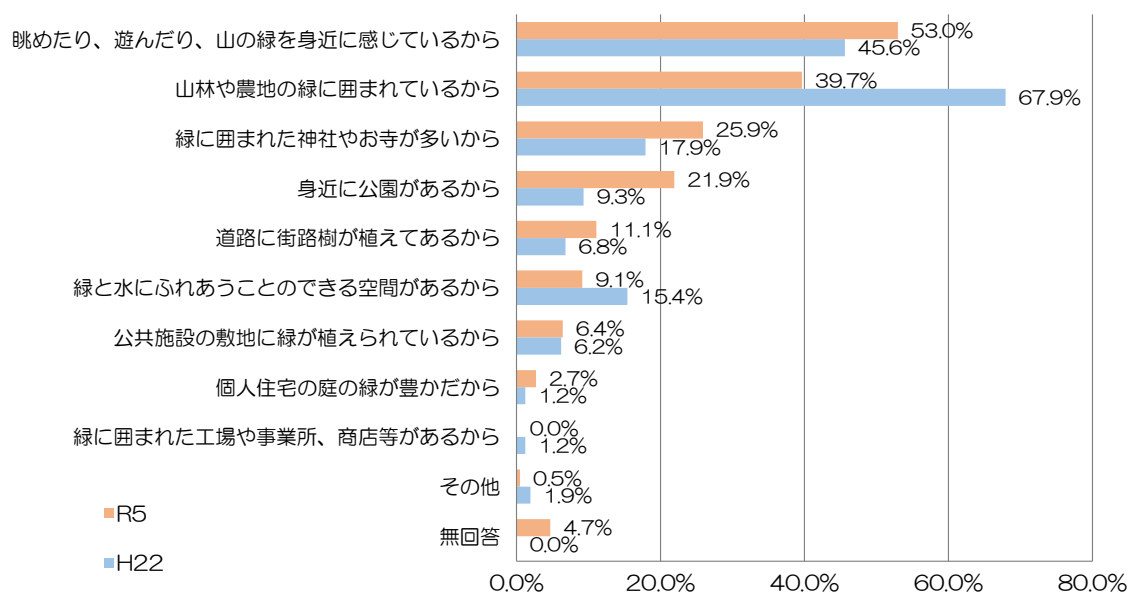
- ・「山を眺めたり、山で遊んだり、山の緑を身近に感じているから」（53.0%）、「山林や農地の緑に囲まれているから」（39.7%）の順に多く、山の緑に関する回答が多い。

<前回調査との比較>

- ・前回調査と比較すると、「山林や農地の緑に囲まれているから」と「山を眺めたり、山で遊んだり、山の緑を身近に感じているから」の順位が逆転しているものの、山の緑に関する回答が多いのは変わらない。また、「身近に公園があるから」が前回 15 票で回答数（297 票）に対する割合は 5.1%であるのに対し、今回は 21.9%と大幅に増加している。

項 目	回答数	比率※
山を眺めたり、山で遊んだり、山の緑を身近に感じているから	215	53.0%
山林や農地の緑に囲まれているから	161	39.7%
緑に囲まれた神社やお寺が多いから	105	25.9%
身近に公園があるから	89	21.9%
道路に街路樹が植えてあるから	45	11.1%
緑と水にふれあうことのできる空間があるから	37	9.1%
公共施設の敷地に緑が植えられているから	26	6.4%
個人住宅の庭の緑が豊かだから	11	2.7%
その他	2	0.5%
無回答	19	4.7%
回答総数（無回答は除く）	691	—
回答者数	406	—

※比率：回答者数に対する割合



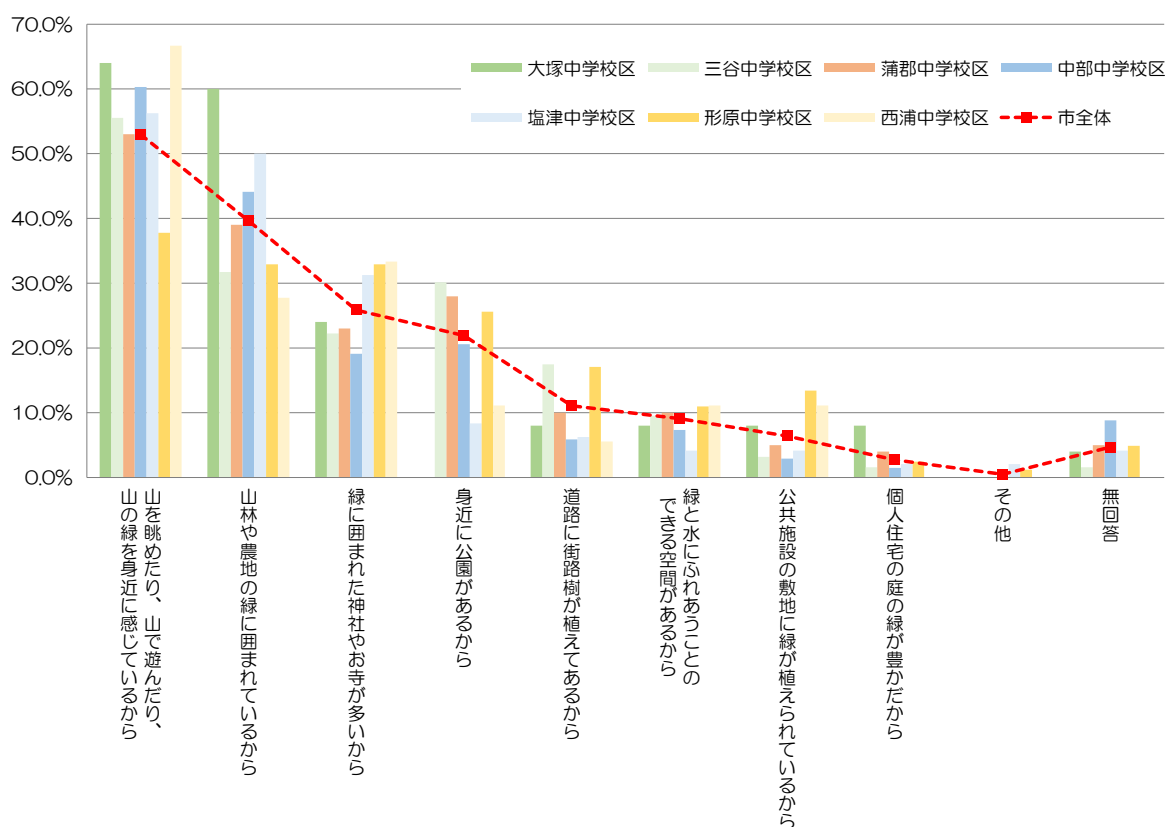
※今回調査（R5）では設問項目に「緑に囲まれた工場や事業所、商店等があるから」を設定していないことから 0%である。

● 参考：平成 22 年以降に整備された公園

公園種別	名称	位置(中学校区)	供用開始年
街区公園	本町公園	蒲郡中学校区	平成 24 年
街区公園	港町西公園	蒲郡中学校区	平成 26 年
街区公園	東双太山公園	形原中学校区	平成 28 年
街区公園	五反田公園	蒲郡中学校区	平成 29 年
街区公園	港町東公園	蒲郡中学校区	平成 30 年
近隣公園	水竹公園	中部中学校区	令和 2 年
街区公園	新井形公園	蒲郡中学校区	令和 4 年
街区公園	松前公園	中部中学校区	令和 6 年

<中学校区別>

- ・大塚、塩津、西浦の各中学校区では「身近に公園があるから」が市全体より大幅に少なく、これらの中学校区では山や農地、社寺といった自然的・歴史的な緑が比較的高く評価されている。



問10 「緑が豊かなまちと思わない」主な理由（※2つまでの複数回答）

【問8で「そう思わない」と回答】

<市全体>

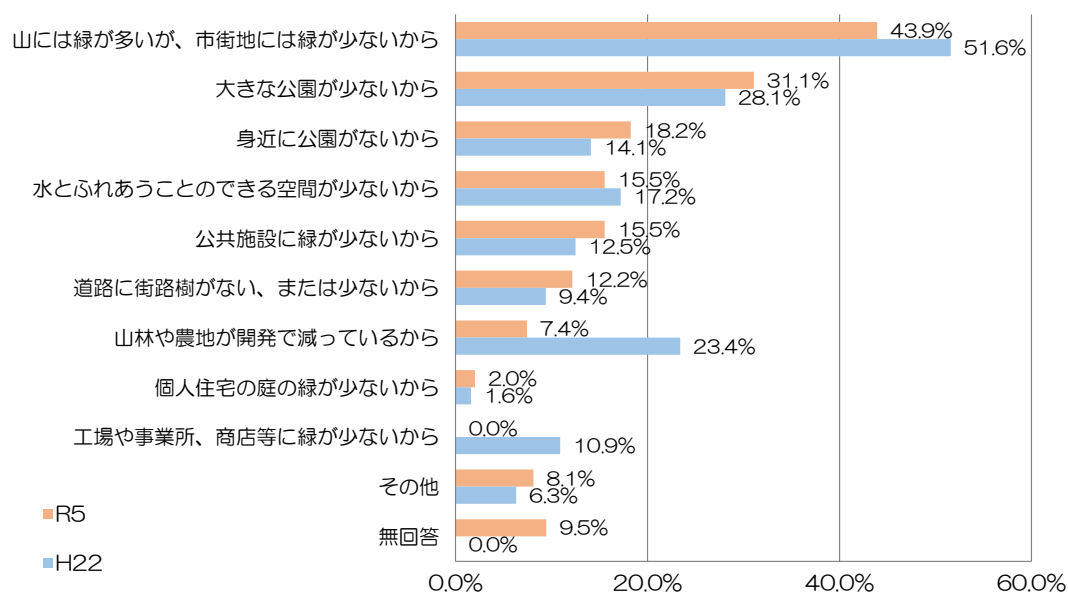
- ・「山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから」（43.9%）が最も多く、次いで「大きな公園が少ないから」（31.1%）、「身近に公園がないから」（18.2%）の順に多く、市街地内の緑や公園が少ないという回答が多い。
- ・「その他」には、公園や山、田畑の管理がされていないからという回答が多くあった。

<前回調査との比較>

- ・前回調査と比較すると、いずれも「山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから」「大きな公園が少ないから」が第1位、第2位を占めているが、第3位は、前回は「山林や農地が各種の開発で減っているから」であるのに対し、今回は「身近に公園がないから」が挙げられている。

項 目	回答数	比率※
山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから	65	43.9%
大きな公園が少ないから	46	31.1%
身近に公園がないから	27	18.2%
水とふれあうことのできる空間が少ないから	23	15.5%
公共施設に緑が少ないから	23	15.5%
道路に街路樹がない、または少ないから	18	12.2%
山林や農地が開発で減っているから	11	7.4%
個人住宅の庭の緑が少ない、またあってもブロック塀等で外から見えないから	3	2.0%
その他	12	8.1%
無回答	14	9.5%
回答総数（無回答は除く）	228	—
回答者数	148	—

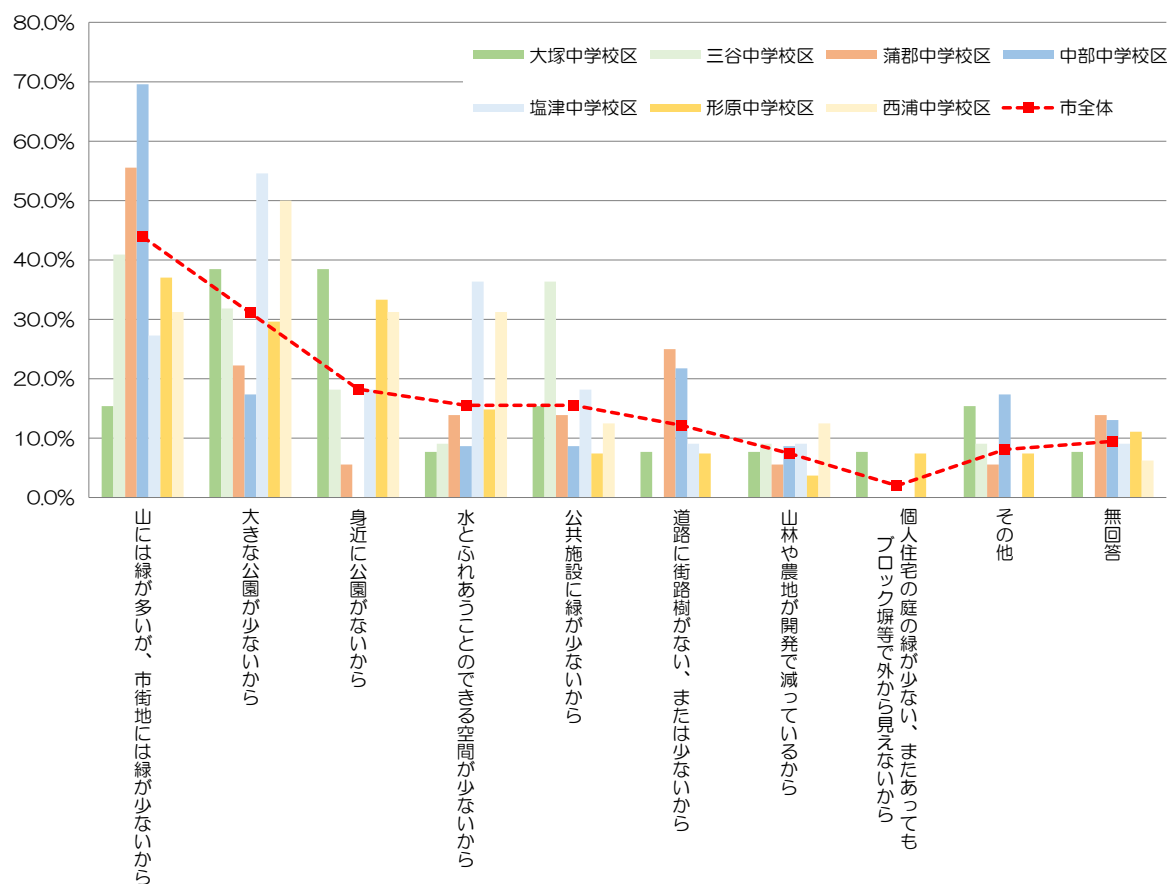
※比率：回答者数に対する割合



※今回調査（R5）では設問項目に「工場や事業所、商店等に緑が少ないから」を設定していないことから0%である。

<中学校区別>

- ・大塚、形原、西浦の各中学校区では「身近に公園がないから」が市全体より大幅に多く、塩津中学校区、西浦中学校区では「大きな公園が少ないから」や「水とふれあうことのできる空間が少ないから」が多く挙げられている。
- ・一方、中部中学校区、蒲郡中学校区では、「山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから」や「道路に街路樹がない、または少ないから」が市全体より大幅に多く挙げられている。



問11 緑を残すため、緑を増やすために必要な取組み（※3つまでの複数回答）

<市全体>

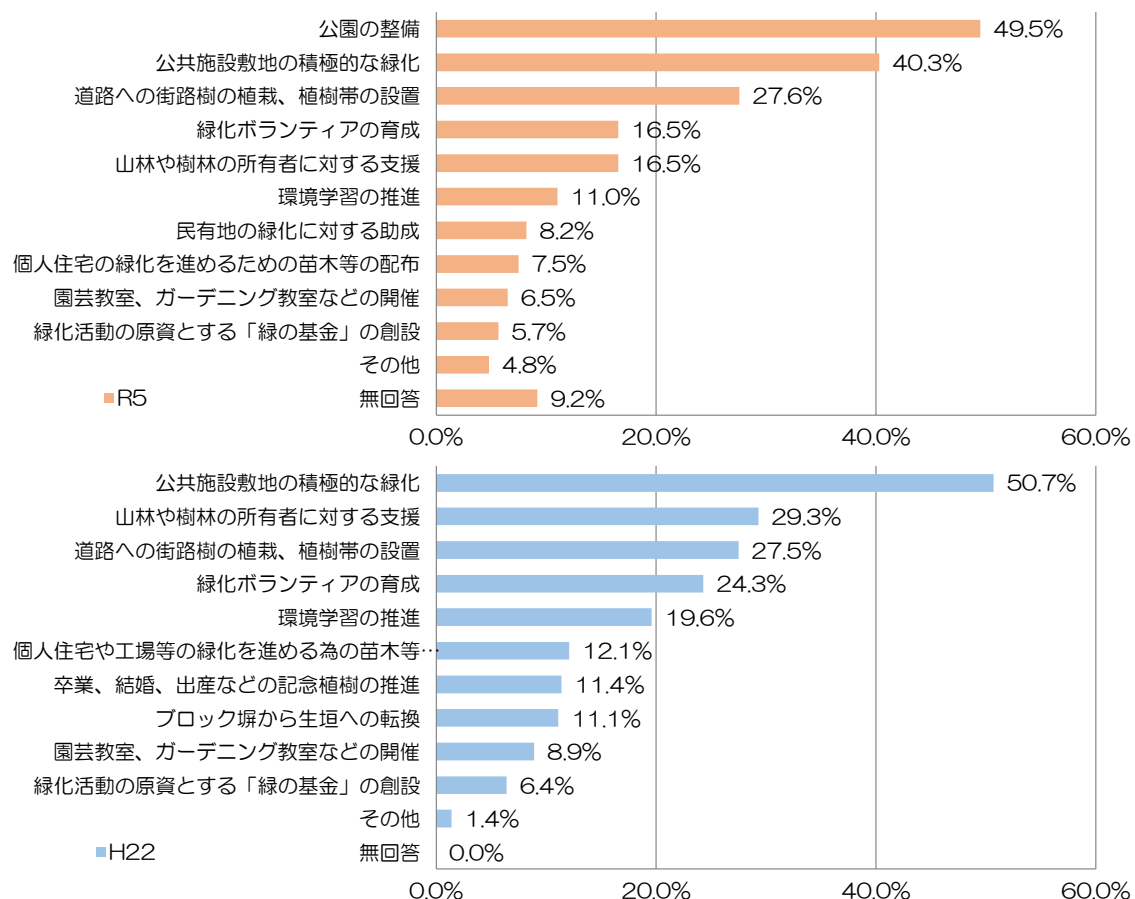
- ・「公園の整備」（49.5%）が最も多く、次いで「公共施設敷地の積極的な緑化」（40.3%）、「道路への街路樹の植栽、植樹帯の設置」（27.6%）の順に多く、行政によるハード的な取組みに対する回答が多い。
- ・「その他」には、除草等の管理（意見数 7）や、それに対する助成（意見数 4）が必要という回答が多くあった。

<前回調査との比較>

- ・前回調査では「公園の整備」が選択肢になく、これを除くと「公共施設敷地の積極的な緑化」が前回、今回ともに最多となっている。「道路への街路樹の植栽、植樹帯の設置」「山林や樹林の所有者に対する支援」「緑化ボランティアの育成」も今回、前回ともに多い。

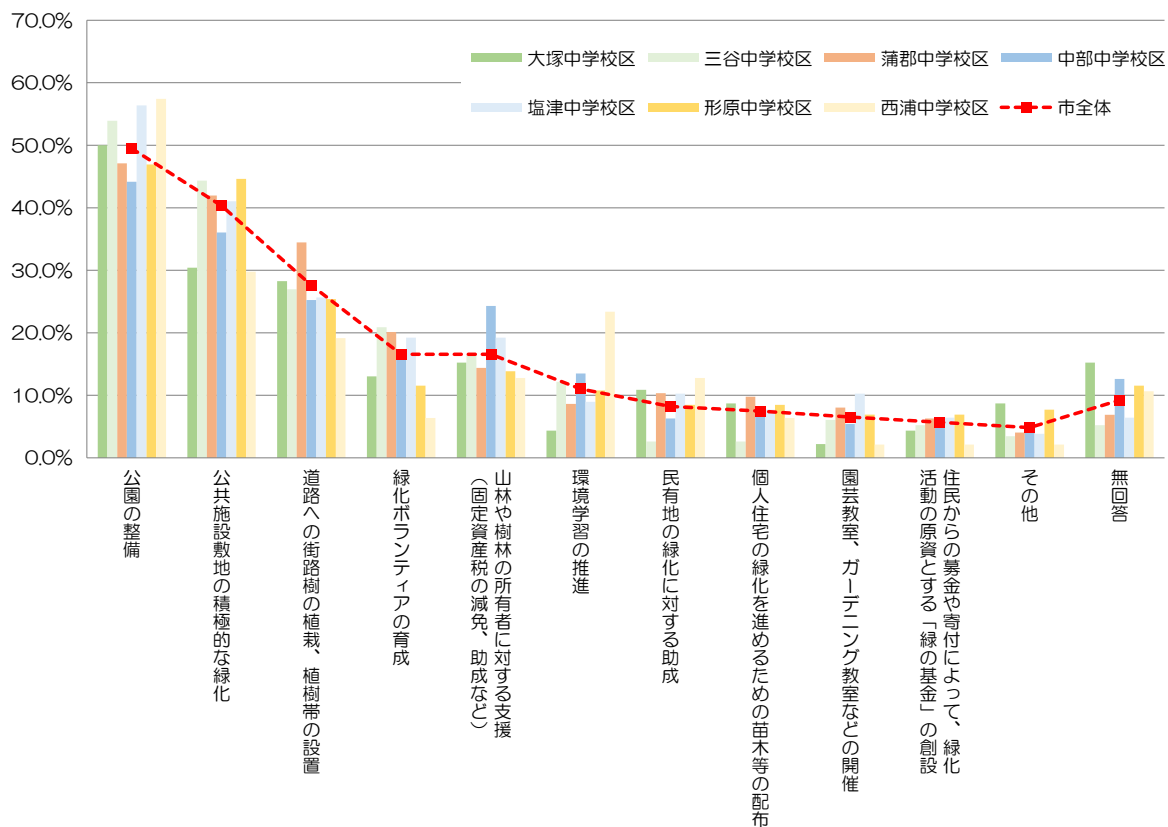
項 目	回答数	比率※
公園の整備	350	49.5%
公共施設敷地の積極的な緑化	285	40.3%
道路への街路樹の植栽、植樹帯の設置	195	27.6%
緑化ボランティアの育成	117	16.5%
山林や樹林の所有者に対する支援（固定資産税の減免、助成など）	117	16.5%
環境学習の推進	78	11.0%
民有地の緑化に対する助成	58	8.2%
個人住宅の緑化を進めるための苗木等の配布	53	7.5%
園芸教室、ガーデニング教室などの開催	46	6.5%
住民からの募金や寄付によって、緑化活動の原資とする「緑の基金」の創設	40	5.7%
その他	34	4.8%
無回答	65	9.2%
回答総数（無回答は除く）	1,373	—
回答者数	707	—

※比率：回答者数に対する割合



＜中学校区別＞

- ・回答の傾向は市全体と同様ではあるが、蒲郡中学校区では、「道路への街路樹の植栽、植樹帯の設置」が全体より多く、中部中学校区では「山林や樹林の所有者に対する支援（固定資産税の減免、助成など）」が市全体より多く、西浦中学校区では「環境学習の推進」が市全体より大幅に多く挙げられている。



問12 緑を残したり、増やしたりする活動への関心

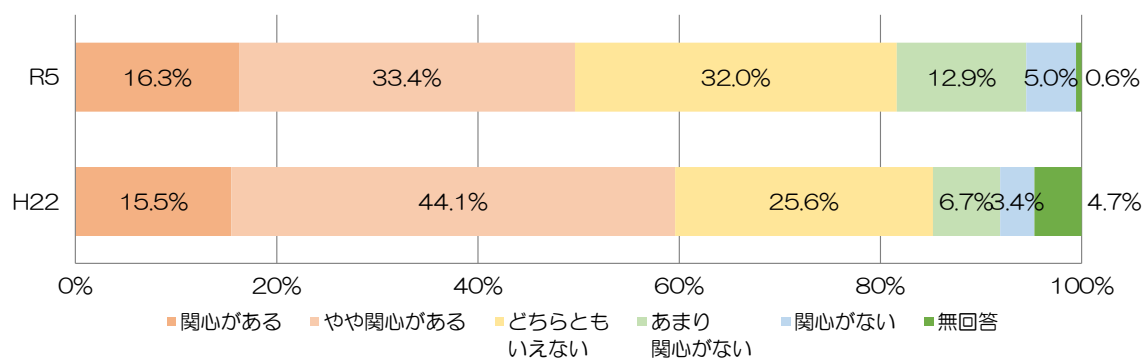
<市全体>

- ・「関心がある」(16.3%)、「やや関心がある」(33.4%)を合わせると約半数の49.7%となり、緑に関する活動に関心がある割合が高くなっている。一方、「あまり関心がない」(12.9%)、「関心がない」(5.0%)を合わせた関心がない回答者の割合は20%未満となっている。

<前回調査との比較>

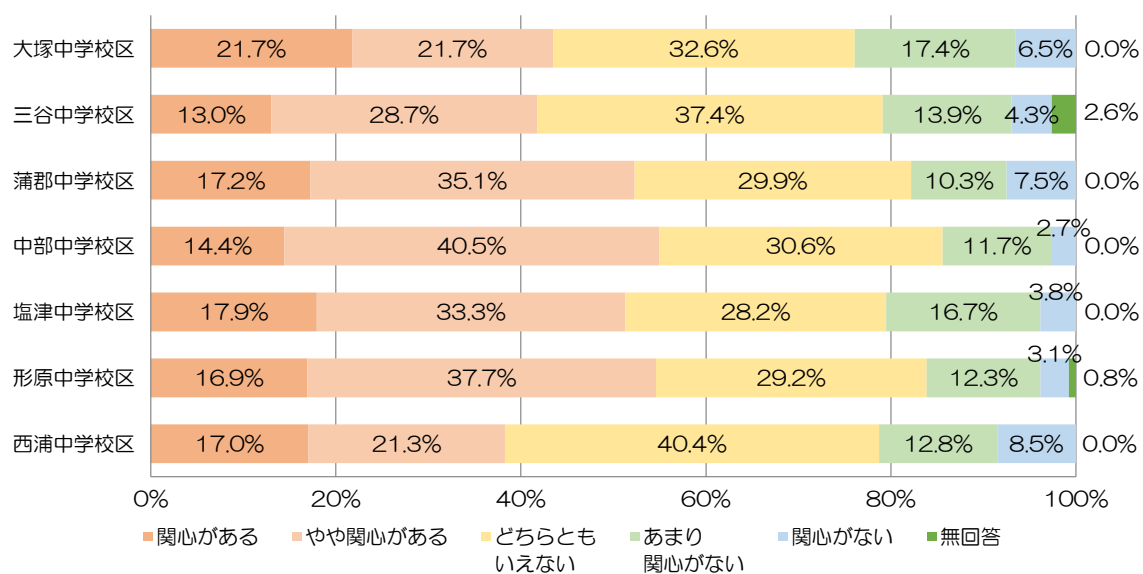
- ・前回調査と比較すると、「関心がある」「やや関心がある」の合計が、前は59.6%であったのに対し、今回は49.7%と、10%ほど減少している。また、「関心がない」「あまり関心がない」の合計が前は10.1%であったのに対し、今回は17.9%に増加している。

項 目	回答数	比率
関心がある	115	16.3%
やや関心がある	236	33.4%
どちらともいえない	226	32.0%
あまり関心がない	91	12.9%
関心がない	35	5.0%
無回答	4	0.6%
回答者数	707	100.0%



<中学校区別>

- ・大塚、三谷、西浦の各中学校区の関心度合いが低い傾向にある。



問13 緑を残したり、増やしたりする活動への参加意向

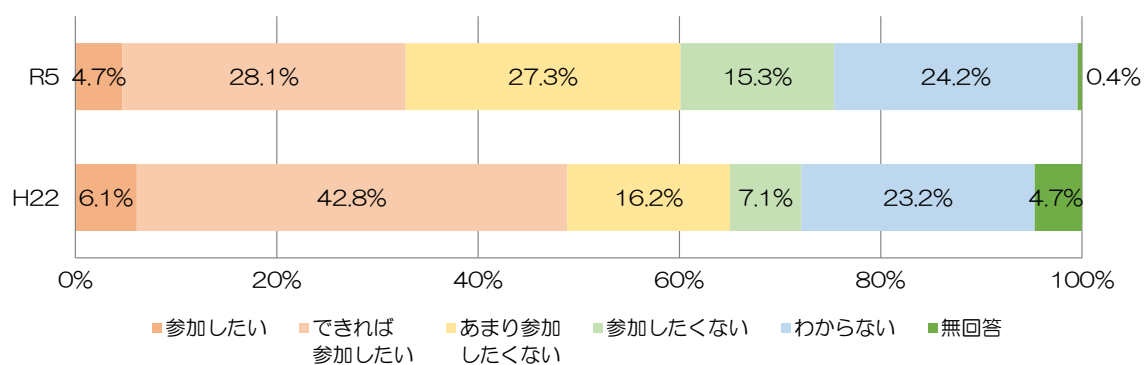
<市全体>

- ・「参加したい」（4.7%）、「できれば参加したい」（28.1%）を合わせると30%あまりで、問12の緑の活動への関心に比べ、参加意向は低くなっている。また、「あまり参加したくない」（27.3%）、「参加したくない」（15.3%）を合わせると40%以上となり、参加意向がある回答より多くなっている。

<前回調査との比較>

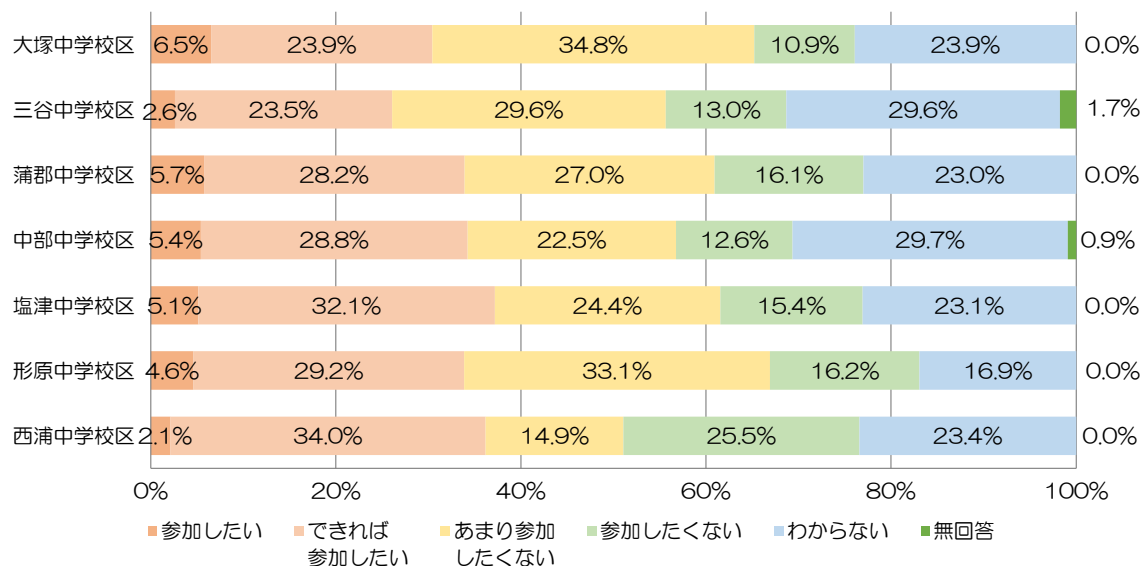
- ・前回調査と比較すると、「参加したい」「できれば参加したい」の合計が、前回は48.9%であったのに対し、今回は32.8%と、16%減少している。

項 目	回答数	比率
参加したい	33	4.7%
できれば参加したい	199	28.1%
あまり参加したくない	193	27.3%
参加したくない	108	15.3%
わからない	171	24.2%
無回答	3	0.4%
回答者数	707	100.0%



<中学校区別>

- ・西浦中学校区は、「参加したい」（2.1%）、「参加したくない」（25.5%）と、他の中学校区に比べ、参加意向は低い傾向にある。



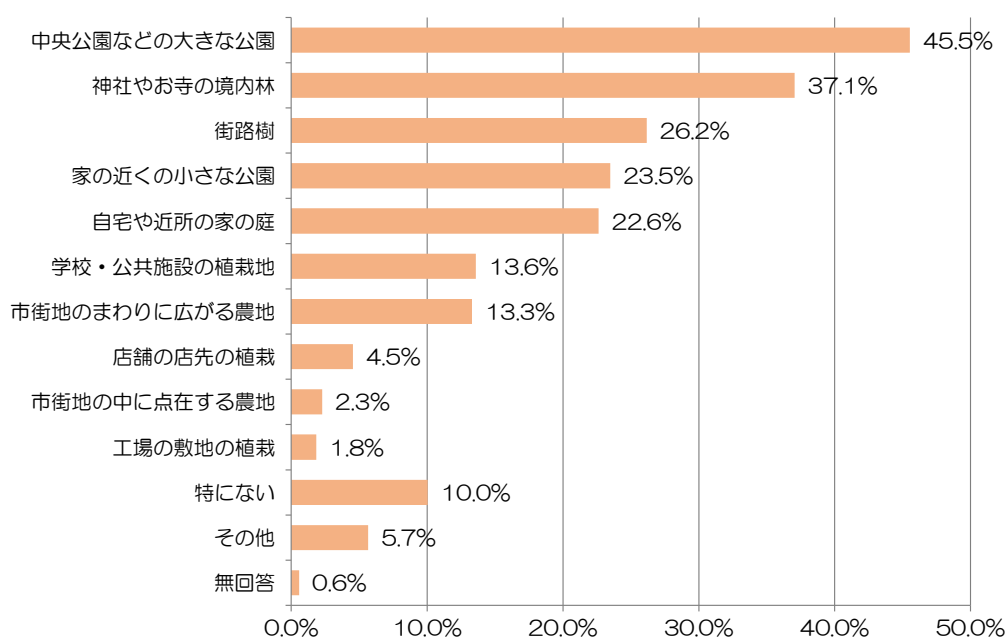
問14 市内で好きな緑（※ 3 つまでの複数回答）

<市全体>

- ・「中央公園などの大きな公園」（45.5%）が最も多く、次いで「神社やお寺の境内林」（37.1%）、「街路樹」（26.2%）の順に多い。また、「家の近くの小さな公園」（23.5%）、「自宅や近所の家」の庭」（22.6%）といった身近な緑も比較的多い。
- ・「その他」には、山地（五井山、遠望峰山等）や竹島埠頭緑地、西浦シーサイドロードという回答があった。

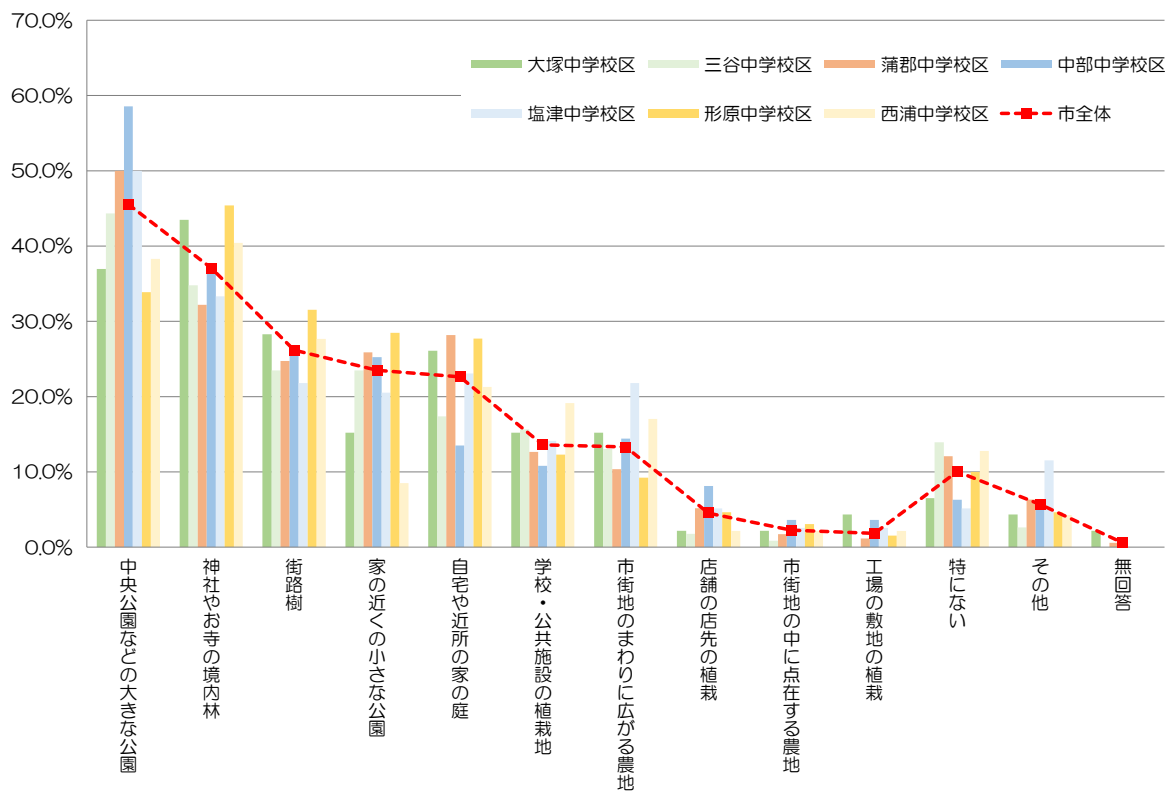
項 目	回答数	比率※
中央公園などの大きな公園	322	45.5%
神社やお寺の境内林	262	37.1%
街路樹	185	26.2%
家の近くの小さな公園	166	23.5%
自宅や近所の家」の庭	160	22.6%
学校・公共施設の植栽地	96	13.6%
市街地のまわりに広がる農地	94	13.3%
店舗の店先の植栽	32	4.5%
市街地の中に点在する農地	16	2.3%
工場の敷地の植栽	13	1.8%
特にない	71	10.0%
その他	40	5.7%
無回答	4	0.6%
回答総数（無回答は除く）	1,457	—
回答者数	707	—

※比率：回答者数に対する割合



<中学校区別>

- ・市の中心部に近い三谷、蒲郡、中部、塩津の各中学校区では「中央公園などの大きな公園」が「神社やお寺の境内林」を大きく上回る一方、大塚、形原、西浦の各中学校区では「神社やお寺の境内林」が最も多く挙げられている。



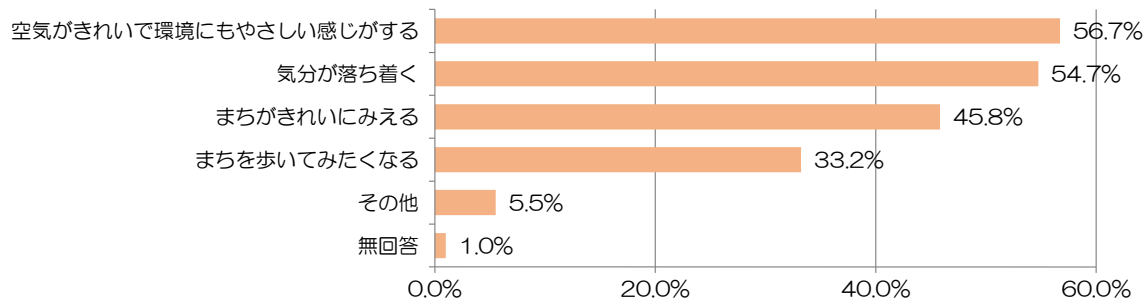
問15 まちなか（市街地）に緑があるとどのような感じになるか（※該当するもの全て）

<市全体>

- ・「空気がきれいで環境にもやさしい感じがする」（56.7%）と「気分が落ち着く」（54.7%）が多く、ともに50%を超えている。
- ・「その他」には、季節を感じる、まちの魅力を高めるといった肯定的な回答が多くあったが、除草や落ち葉対策等が必要という回答もあった。

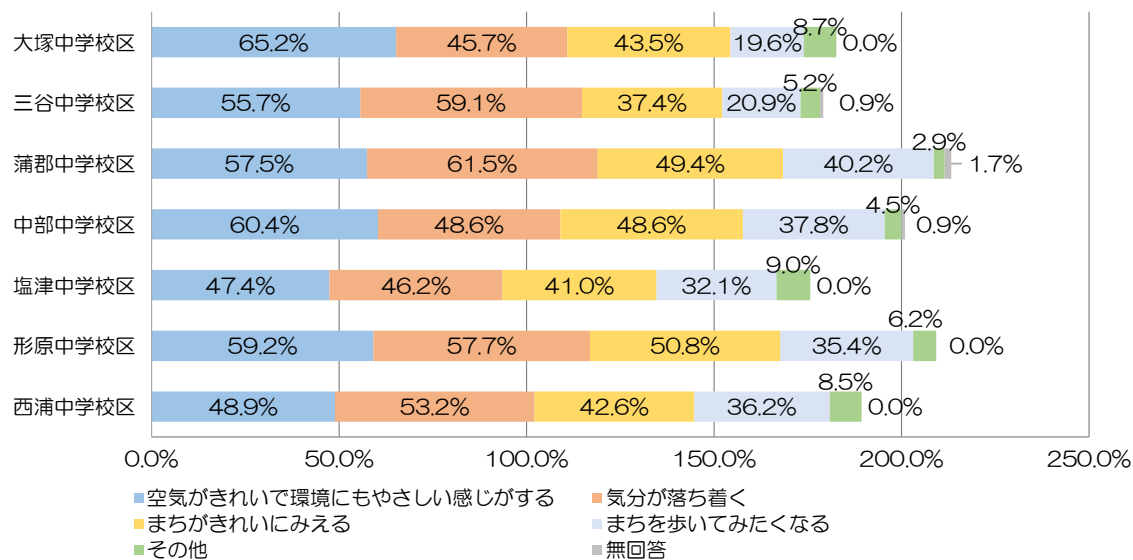
項 目	回答数	比率※
空気がきれいで環境にもやさしい感じがする	401	56.7%
気分が落ち着く	387	54.7%
まちがきれいにみえる	324	45.8%
まちを歩いてみたくなる	235	33.2%
その他	39	5.5%
無回答	7	1.0%
回答総数（無回答は除く）	1,386	—
回答者数	707	—

※比率：回答者数に対する割合



<中学校区別>

- ・中学校区による傾向の差は特にみられないが、蒲郡、中部中学校区では「まちを歩いてみたくなる」が約40%と他の中学校区に比べ高い比率になっている。



＜自由意見＞

① 公園に関する意見

＜公園施設＞

- ・子どもの遊具を充実してほしいとの要望があるほか、高齢者等も利用できる健康遊具など身体を鍛え健康づくりのできる施設を求める意見もあった。（意見数 12）
- ・トイレが汚いので、きれいなトイレにしてほしいとの要望が多かった。（意見数 19）
- ・駐車場が少なく公園を利用しづらいという意見のほか、路上駐車が多いので困るとの意見もあった。（意見数 11）

＜公園管理＞

- ・草木が生い茂り利用できないという意見（意見数 20）のほか、自治会やボランティアによる管理には限界があるため市で管理してほしい、募金や寄付により支援できる仕組みが必要（意見数 13）などの意見もあった。

＜公園利用目的＞

- ・散歩（意見数 7）や運動（意見数 9）ができる公園を求める意見が多くあった。

＜公園整備＞

- ・子どもたちが安心して遊べる身近な公園が少ないとの意見（意見数 12）のほか、近隣市にある赤塚山公園、東三河ふるさと公園、岡崎市東公園等のような大規模公園を望む意見（意見数 12）も多くあった。

② 街路樹に関する意見

- ・雑草が生い茂り景観や通行の妨げになるという意見（意見数 17）が非常に多くあった。
- ・落葉樹は、落ち葉の処理が大変なので樹種を見直してはどうかという意見（意見数 6）もあった。

③ その他 緑に関する意見

- ・山地や農地の緑に関しては、癒やされるとの意見（意見数 3）がある一方で、管理されず荒れているとの意見（意見数 5）もあった。
- ・市街地内の緑に関しては、オープンガーデニング等の花や緑を増やす取組を要望する意見（意見数 6）があった。

＜アンケート結果のまとめ＞

①蒲郡市の公園・緑地の現状、そのあり方について

- ・公園・緑地の利用頻度に関して、「ほとんど利用しない」の回答が半数を超え、月に 1 回程度以上の利用者は 30%程度で、前回調査時と比べ 10 ポイントほど減少
- ・「公園までの距離」、「公園の大きさ」について満足度は高いが、「遊具などの施設」、「清掃や樹木の管理」に対する不満の割合が高く、公園に関する問題点に対しても、「トイレなどの施設が古い・汚い」や「利用したい施設がない」との回答が多くあった。
- ・ペット散歩時のマナーやボール遊びが禁止される点についての不満も多くあった。
- ・中学校区別では大塚中学校区、西浦中学校区等において「利用したい施設がない」「公園が近くにない」「広場が狭い」といった項目が多く挙げられている。
- ・現状の公園利用の目的として「子どもや孫を遊具で遊ばせる・一緒に遊ぶため」が最も多いが、今後、蒲郡市に必要と思う公園としては、「ジョギングや散歩を楽しむことができる公園」や「何気なく立ち寄ることができる身近な公園」といった日常的に利用できる公園の回答が多かった。

②蒲郡市の緑の現状、そのあり方について

- ・蒲郡市は「緑が豊かなまちと思う」という回答が半数以上を占め、理由としては「山を眺めたり、山で遊んだり、山の緑を身近に感じているから」や「山林や農地の緑に囲まれているから」という山の緑に関する回答が多くあった。
- ・「緑が豊かなまちと思わない」理由としては、「山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから」という理由が最も多く、次いで「大きな公園が少ないから」が多かった。また、中学校区別では蒲郡、中部中学校区は「山には緑が多いが、市街地には緑が少ないから」が大幅に多く挙げられた。大塚、形原、西浦の各中学校区では「身近に公園がないから」が市全体より大幅に多く、塩津中学校区、西浦中学校区では「大きな公園が少ないから」及び「水とふれあうことのできる空間が少ないから」が多く挙げられている。
- ・緑に関する活動へ関心がある人は約 50%と多いが、平成 22 年と比べると 10%ほど減少している。
- ・緑に関する活動への参加意向は 30%余りであるのに対して、不参加意向は 40%余りで緑の活動への関心に比べ、参加意向は低い。また、平成 22 年の調査時では 50%近くあったのに比べ、参加意向は低下している。
- ・好きな緑については、「中央公園などの大きな公園」が最も多かった。
- ・まちなか（市街地）における緑の効用として、「空気がきれいで環境にもやさしい感じがする」、「気分が落ち着く」という意見が多かった。